

## 2 平成16年度下半期の財政状況

### 概況

月例経済報告によると、平成16年10月時点では「景気は堅調に回復している」、「先行きについては、国内民間需要が着実に増加していることから、景気回復が続くと見込まれる」とされ、平成17年3月時点でも「景気は、一部に弱い動きが続いており、回復が緩やかになっている」ものの「先行きについては、企業部門の好調さが持続しており、世界経済の着実な回復に伴って、景気回復は底堅く推移すると見込まれる」とされました。

こうした中、平成16年度は、歳入面で、デジタル関連を中心とした企業業績の改善などにより、法人二税をはじめ多くの税目で増収となる一方、基金からの繰り入れや県債の発行を減額しました。

歳出面では、人件費の削減や事務の簡素合理化、経費の節減に努めた結果、平成16年度の決算については、収支の均衡がとれる見込みとなっています。

### 予算の補正状況

平成16年9月県議会定例会における補正後に生じた新たな課題への対応や事業計画の変更、さらには年度内における各事業の執行状況や最終的な財源見通しに基づく所要の調整などのため、予算の補正を行いました。その結果、平成16年度の最終予算額は、次のとおりとなりました。

<b>一般会計</b>	<b>5,323億2,684万3千円</b> (対前年度最終△117億9,258万7千円、△2.2%)
<b>特別会計</b>	<b>1,714億564万9千円</b> (対前年度最終△172億3,818万5千円、△9.1%)

付表 第10表 平成16年度下半期の歳入歳出予算の補正状況 55ページ

第11表 平成16年度一般会計性質別歳出予算(最終予算の比較) 56ページ

### 補正予算の主な内容

#### 専決(平成16年10月29日)による補正予算

滋賀県議会議員甲賀郡選挙区補欠選挙に係る経費について、緊急に対応する必要があったため、知事の専決処分により、9,307万8千円の増額補正を行いました。

#### 平成16年12月県議会定例会における補正予算

平成17年度以降の県有施設の清掃等管理業務委託について、契約事務の競争性、経済性等を確保する観点から複数年契約を行うため、一般会計で6件、公営競技事業特別会計で1件の債務負担行為の追加を行いました。

## 平成 17 年 2 月県議会定例会における補正予算

一般会計では、歳入について、法人二税が 61 億円余り増加することなどにより、県税全体で 93 億 3,000 万円の増額をしたほか、地方消費税清算金で 21 億 6,586 万 8 千円増額しました。地方交付税や地方特例交付金などは、決定状況を踏まえ増額し、国庫補助負担金については、特定資金公共事業債（N T T 債）の繰上償還に係る国からの助成を受けたことなどにより、増額補正しました。また、県債については、国の補正予算に伴う補正予算債を 11 億 1,200 万円計上しましたが、事業費の減額等により、全体としては 62 億円余りの減額となりました。一方、歳出については、国の補正予算に係る災害関連事業で 19 億 8,305 万 8 千円を増額したほか、各事業の執行における不用額等を調整するため減額し、また後年度の財政運営に備えるため基金に積み増しをするなどの補正を行いました。追加した事業の主な内容は、次のとおりです。

所 管	事 業 名	補 正 額
総 務 部	財政調整基金積立金	661,040 千円
	特定資金公共事業債繰上償還	3,606,998
	地方消費税都道府県清算金	777,519
	地方消費税市町村交付金	1,085,387
県民文化生活部	美術館施設整備事業費	48,588
琵琶湖環境部	林道災害復旧事業費	45,392
健康福祉部	乳幼児福祉医療費助成事業補助金	50,037
	特定疾患治療研究事業医療費公費負担	118,425
	重度心身障害者（児）福祉医療費補助金	82,273
	民間心身障害児者施設整備費補助金	334,188
	老人医療給付費負担金	357,735
農政水産部	中山間地域等直接支払基金積立金	39,327
	経営構造対策事業費補助金	337,915
	トレーサビリティシステム導入促進対策事業費補助金	71,500
	土地改良公共事業費	166,397
土木交通部	滋賀県土地開発公社事業費用負担金	708,497
	道路除雪費	404,717
	住宅宅地関連公共施設等総合整備事業費	50,000
	補助河川総合開発事業費	166,714
	県営住宅関係公共事業費	708,776
教育委員会	教職員退職手当費	895,531

特別会計では、事業計画の変更等によって母子および寡婦福祉資金貸付事業特別会計等 5 会計で増額補正を、市町村振興資金貸付事業特別会計等 7 会計で減額補正を行いました。

このほか、債務負担行為について、補助治山事業ほか 4 件の追加を行いました。

また、平成 16 年度予算のうち、用地補償交渉の難航など諸般の事情により年度内に事業執行の見通しが得られない事業について、繰越明許費の補正を行い、一般会計で 78 件、220 億 5,102 万 7 千円、流域下水道事業特別会計で 1 件、57 億 7,534 万 8 千円を翌年度に繰り越しして使用し、事業の進捗を図ることとしました。

平成 16 年度繰越明許費の内容

(一般会計)

(単位 千円)

款 別	事 業 名 (主な繰越理由)	件数	金 額
県民文化生活費	水道広域化促進事業費ほか (企業庁の事業が、地元との調整等に時日を要し遅延したため)	2	110,878
琵琶湖環境費	補助治山事業費ほか (地元との調整等に時日を要したため)	8	932,916
健康福祉費	民間心身障害児者施設整備費補助金ほか (法人の事業が、施工調整等に時日を要し遅延したため)	5	1,015,946
農政水産業費	県営かんがい排水事業費ほか (関係機関との協議等に時日を要したため)	15	7,069,508
土木交通費	緊急地方道路整備事業費ほか (地元との調整等に時日を要したため)	39	11,874,949
教 育 費	(仮称)野洲川歴史公園サッカー場整備事業費補助金ほか (市の事業が、関係機関との協議に時日を要し遅延したため)	6	730,032
災害復旧費	補助土木施設災害復旧事業費ほか (地元との調整等に時日を要したため)	3	316,798
計		78	22,051,027

(特別会計)

(単位 千円)

会計別	事 業 名 (主な繰越理由)	件数	金 額
流域下水道事業	流域下水道建設事業費 (工法検討等に時日を要したため)	1	5,775,348
計		1	5,775,348

## 予算の執行状況

収入については、県債の発行割合が低いことなどから、前年同期を下回る収入割合となっています。

また、一般会計の支出については、前年同期とほぼ同程度となっています。

一方、特別会計の支出については、予算額の比重が大きい流域下水道事業特別会計の執行割合が前年度を上回ったことなどにより、全体として支出割合が前年同期に比べ高くなっています。

### 平成 17 年 3 月 31 日現在における収入および支出の状況

一般会計	予算に対する収入割合	79.3%	(前年同期 85.2%)
	支出割合	84.0%	(前年同期 83.8%)
特別会計	予算に対する収入割合	92.3%	(前年同期 92.6%)
	支出割合	91.3%	(前年同期 87.4%)

付表 第 12 表 平成 16 年度予算執行状況 (平成 17 年 3 月 31 日現在)

57 ページ

## 一時借入金の状況

年間の予算執行に当たって支払資金が不足する場合に、その不足を補うために一時的に当座借越等により借入を行っていますが、その状況は次のとおりです。

### 一般会計

平成 16 年度借入限度額	1,200 億円(前年同期	1,200 億円)
平成 17 年 3 月 31 日現在の借入合計額	119 億円(前年同期	- 億円)
下半期の最高借入額	387 億円(前年同期	280 億円)

### 公営競技事業特別会計

平成 16 年度借入限度額	3 億 5,000 万円(前年同期	3 億 5,000 万円)
平成 17 年 3 月 31 日現在の借入合計額	- 億円(前年同期	- 億円)